

西京革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす西京の会 TEL331-5922

第15号

2018. 3. 1

発行責任者 幸 良

編集責任者 尾池 惺

学校統廃合・小中一貫校問題を考える

市内で学校の統廃合・小中一貫校への流れが強まっています。西京区洛西ニュータウンでは、児童数が激減し、統廃合の対象になる可能性が浮上しています。

「いま、子どもと学校は？」つどい実行委員会(西京革新懇、教職員組合、新婦人、年金者組合等)の主催で、2月18日、「いま、子どもと学校は？学校統廃合、小中一貫校問題を考える集い」が開催され、教育環境の現状、学校と地域の関わりなどが話し合われました。



常の改修等は3分の1)があり、この補助制度が統廃合を後押ししているのです。中野氏は、「統廃合で子どもの教育環境はどうなるのか、地域のつながりはどうなるのか、しっかり検証していくことが大事」との問題提起を行いました。

すすむ学校統廃合・小中一貫校化

市内では、「児童の減少」と「効率化」を口実に、小中学校72校が19校に統合されています。

市教職員組合の中野副委員長は、政府のすすめる地方創生、コンパクトシティー構想(公共施設の統廃合等)が背景にあると指摘します。

その理由とされているのが、①児童数が減少し、「切磋琢磨できない」「人間関係が固定化」「部活動ができない」、②現在の校舎が老朽化、③特別の学校をつくる(小中一貫で超豪華校舎等)というものです。

小学校を統合、新設すれば2分の1の国庫補助(通

洛西ニュータウンの児童数と学級

学年	新林小		境谷小		竹の里小		福西小	
1	57	2	39	2	28	1	31	1
2	56	2	33	2	22	1	46	2
3	64	2	35	1	18	1	37	1
4	67	2	27	1	30	1	35	1
5	61	2	37	1	40	2	29	1
6	58	2	48	2	21	1	48	2
育	(5)	2	(4)	2	(2)	1	(3)	1
計	363	14	219	11	159	8	226	9

2017年5月1日現在(市教委)

統廃合で地域の衰退が加速～京北

右京区・京北(旧京北町)は、1999年に小学校6校が3校に統合されました。さらに、2020年には、小学校3校と中学校1校を統合し、小中一貫校(施設一体型)にする計画がすすんでいます。

京北の参加者は、「京北の広さは大阪市とほぼ同じ、そこに、たった一校となれば教育環境の悪化をさらに招く」「(99年に)統合されてから子供の減少がさらに進んだ。地域の衰退に拍車がかかるのでは」との声を上げています。また、「PTAの役員だけの議論が先行し、住民の間で議論が不十分のまま押し切られた」と市のすすめ方にも問題があると指摘します。

東山区や兵庫・川西市の例では…

東山区では、10小学校と2中学校が南北2つの小中一貫校に統廃合されました。通学区域が広がり、児童は市バスで通学することに。統合校の一つ、東山泉小・中学校は、5・4制施設併用型。小学6年生が中学校の校舎に通うことになり、保護者が「給食がなくなる、制服が必要になる」「6年生の1年間は、最高学年とし

て責任感を養い、心身ともに成長できる時期。そのチャンスをつぶさないで」と「親の会」を結成し、署名運動をとりくんだ例も報告されました。

新婦人提供の資料では、兵庫県・川西市で学校統廃合の動きに対して、保護者たちが「守る会」を結成して声を上げ、地域や議会を変え、ついに統廃合を凍結させた例も紹介されました。

小学校は 100 名程度が理想規模 (WHO)

保護者からは、「単級 (1 学年 1 クラス) で学力に心配はないが、人間関係が固定化されるデメリットはないか」「3 年生になって (35 人→40 人学級) 一気に大人数になり、学校に行かなくなった、先生は気にかけてくれるが、どうしていいかわからない」「大人数から少人数の学校に転校して、行事などで出番があり、子供の意識が変わった」などの意見が出されました。



中野氏は、「単級だから、いじめが固定化するとは、必ずしも言えない」「文科省は、12~18 学級が適正規模というが、WHO (世界保健機関) では、小学校 (初等教育) は 100 名程度で、歩いて行ける範囲が理想とされている」と説明。参加者からは、「子供の目線で作るべき」「学校の統廃合は地域を荒廃させる」「少人数学級の良さがある。維持すべきだ」「統合で 1000 人規模の学校に勤務しているが、とても無理。教員が児童一人一人の名前を覚え、声かけられることが大事」などの意見が出されました。

保護者と住民で大いに議論を!

主催者側の締めくくり発言では、「学校は子供の教育の場であるとともに、地域にとっても大事な存在。保護者と住民が大いに議論することが大事。地域で考える会などの場を設けて市などに要請することが必要」との方向性が示されました。

参加者の感想では、「まちづくりの要^{かため}としての子供の環境、という着目点を大事にしたい」「経済効率から発想された統廃合・小中一貫校には反対」などの意見が出されていました。

3000万署名
実施中



知事選で福山氏の勝利を!



4 月 8 日投票の京都府知事選挙で立候補を表明した福山和人弁護士。広範な市民団体と民主府政の会で構成する「つなぐ京都」が推薦し、選挙母体となります。

福山氏は、アスベスト訴訟、大飯原発差し止め訴訟、青い鳥保育園雇止め訴訟などの裁判を担当、一貫して人権を守る立場で弁護士活動を行ってきた情熱と人間味の豊かな人。幼少期の貧困や祖母の介護など、大変な苦労人でもあります。この人の話を聞くと誰もが魅了され、ファンになってしまいます。

福山さんは、重点政策「つなぐ京都」を発表。①夢をつなぐ~ストップ貧困京都宣言、②なりわい(生業)をつなぐ~雇用、暮らしと地域を守る、③未来へつなぐ~原発再稼働反対、京都の未来を切り開く、④人をつなぐ~自治と自律を土台にしたボトムアップによる施策の実施。この重点政策は、市民目線からのものであり、多くの府民の願い、要求と一致します。



「つなぐ京都」は、これまでにない新しいかたちの市民と諸団体の共闘組織であり、保守・革新、政党・政派を越えた府民の結集で、福山さんの勝利をめざしています。

府政転換 つなぐ京都へ

西京区民大集会

3月9日(金)夜7時~

西文化会館ウエスティ

主催:民主府政をつくる西京連絡会・つなぐネット(仮称)

重税反対集会

3月13日(火)13時半~

洛西エミナーズ
で行われます。

